

pH調整剤

【湿し水用 pH 調整剤】



本来 PS 版の非画像部は予め親水化処理が施され、汚れ（インキ付着）に対して非常に強く作られています。しかしこれが印刷過程により破壊されたり、インキのブリード等によりインキが吸着した場合、給湿液の親水化能力によりこれらを補うことができます。しかし一般酸性型給湿液の能力は弱酸性（pH4～6）の範囲で反応するように設計されていますが、水質やインキの種類（UV インキ）によっては印刷開始まもなくこの範囲（pH4～6）を超えてしまうことがまれにあります。これは給湿液で対応すれば良いのですが、すべてカバーすることができません。そこでアルカリ域から酸性域へ pH を調整する必要があるため『pH調整剤』を製品化しました。

【特長】

- ★ 中性紙や UV インキによる湿し水 pH の上昇に効果を発揮します。
- ★ pH 調整装置で使用すると、湿し水 pH を安定させることができます。
- ★ pH を下げるために給湿液を添加するということがなくなります。

【使用方法】

〈pH 調整装置の付いた循環装置〉

1. pH メーターの電極に KCl 液が充分に入っているか確認してください。
2. 電極をアルコール水できれいに洗浄してください。
3. pH 標準液を使用し pH7、pH4 の校正を正しく行ってください。
4. pH 上限値を任意の値（4～5.8 程度）にセットしてください。
5. pH 調整剤を 3～5 倍に希釈して従来の給湿液タンクに入れてから作動させてください。

〈pH 調整装置の付いていない場合〉

1. 手持ちの pH メーター pH7、pH4 の校正を正しく行ってください。
2. 循環装置内の pH を測定し pH6 を超えているようであれば原液をキャップ半分（10ml）入れて 10 分程度攪拌し pH を測定してください。任意の数値まで pH の調整を行ってください。（水質にもよりますがキャップ 1 杯で pH6 程度が pH5 前後まで下がります）
3. およそ 8 時間毎に繰返し行ってください。

【使用上の注意】

- ★ pH4 以下にはしないでください。
- ★ 原液が皮膚、衣類等に付着した場合は水で良く洗ってください。

ご使用前に必ず安全データシート（SDS）をお読みください。

【適用法令】

- ・ P R T R 法 … 非該当
- ・ 有機則 … 非該当
- ・ 消防法 … 非該当



保護手袋着用



保護眼鏡着用



保護マスク着用

【製品仕様】

1L × 6 本 × 2 / ケース



株式
会社

日研化学研究所

名古屋本社 : 052-204-0556
名古屋営業所 : 052-506-7220
福岡営業所 : 092-412-6711

東京支社 : 03-3632-4741
大阪支社 : 06-6577-0851